

プライバシーへの配慮

- 患者さんのプライバシーおよび羞恥心に配慮する。

身だしなみ

- ユニフォーム(白衣)は洗濯済みで、清潔である。
- ユニフォーム(白衣)のボタンをきちんととめ、名札をつけて着用している
- ユニフォーム(白衣)のポケットの中のものに配慮する。(診察中に落ちたり、飛び出したりしないように注意する)
- 聴診器の扱いに配慮できる。(患者さんに不快感を与えない、だらしくしない)
- 華美な服装(化粧・アクセサリーなど)でない。
- 全体の印象で不快感がない。
- 全体の印象で清潔感がある。
- 髪型頭髪が多くの患者さんにとって抵抗感がない。
- ヒゲは手入れされている。
- 不快な口臭・体臭がない。
- 爪はきちんと切っている。
- マニキュアはしていないか、あるいは派手でない。(淡色が目立たない)
- 履物は動きやすく清潔感があり、足にフィットしている。
- 履物の音が大き過ぎない。
- 診察前に手を清潔にする。

言葉遣い

- 患者さんに適した声の大きさである。(高齢者にも聞こえる／小児が驚くことがない)
- 患者さんがわかり易いはやさで話す。
- 患者さんへの敬意が感じられる言葉遣い(適切な敬語)である。
- 患者さんを気遣う言葉を使う。

診察の開始と終了

- 挨拶、自己紹介、患者確認をする。
- 診察をする旨を告げ、了承を得る。
- 診察の種類に合わせて適切に声をかける。
- 診察終了後に挨拶をする。

- 診察終了後、次のステップ(どこで待っていただくなど)の説明をする。